

平成30年度
狹山市行政評価
(事務事業評価)
実施結果

狹 山 市

目 次

I 狭山市の行政評価

1 はじめに	1
2 狭山市のこれまでの取り組み	1

II 平成30年度 行政評価実施要領

1 これからの行政評価のねらい	2
2 評価の手法	3
3 行政評価の概要	4
4 評価結果の活用	5

III 平成30年度行政評価の実施結果

1 第一次評価実施結果	6
2 第一次評価結果一覧	7
3 第二次評価実施結果	13
4 第二次評価結果一覧	14
第二次評価表	15

I 狭山市の行政評価

1 はじめに

近年、地方自治体には、地方分権の進展や住民意識の多様化、長引く景気低迷による厳しい行財政状況のなかで、市民のニーズに的確に対応し、効率的に行政を運営していくことや、行政活動の内容を住民に分かりやすく説明することなどが求められています。

そこで、狭山市では、このような時代に対応していくため、平成15年度から行政評価制度を導入しました。このことにより、成果を重視し透明性の高い行政運営を目指すとともに、行政評価を通して職員の意識改革を進めようと考えています。

2 狭山市のこれまでの取組み

狭山市では、平成11年度に行政評価の導入に向けて調査研究に着手し、平成12年度と平成14年度に試行的に事務事業の評価に取り組み、平成15年度に行政評価制度を本格導入しました。平成25年度からは、実施計画、予算及び決算と一体的に管理、運用していく財務会計システムでの行政評価を導入し、実施しています。

◆ これまでの取組状況（平成26年度から平成30年度）

◇ 平成26年度

- ・評価対象 平成25年度実施事務事業
- ・評価件数 379件（総合振興計画実施計画事業等）

◇ 平成27年度

- ・評価対象 平成26年度実施事務事業
- ・評価件数 222件（総合振興計画実施計画事業のみ）

◇ 平成28年度

- ・評価対象 平成27年度実施事務事業
- ・評価件数 213件（総合振興計画実施計画事業のみ）

◇ 平成29年度

- ・評価対象 平成28年度実施事務事業
- ・評価件数 206件（総合計画実施計画事業のみ）

◇ 平成30年度

- ・評価対象 平成29年度実施事務事業
- ・評価件数 198件（総合計画実施計画事業のみ）

Ⅱ 平成30年度 行政評価実施要領

1 これからの行政評価のねらい

これから狭山市が行う行政評価(事務事業評価)は、これまでの評価では希薄であった「行政を経営する」という視点をもって、施策のレベルから事務事業を俯瞰して評価します。

この評価を通じて、職員一人ひとりの意識改革を進め、行政活動を「見える化」することで、市民と行政とが共通理解の下に協働して事業やまちづくりを進めていくことが可能となります。

① 「行政経営」という視点

これまでの行政評価(事務事業評価)では、単に「どれだけの予算を投入して、どれだけのサービスを実施したか」を評価するにとどまっていました。

そのため、個々の事務事業レベルでは「効率性が高い」と評価できても、上位に位置する施策の目指す方向と違ってないか、同じ施策を構成する他の事務事業との相乗効果を生むことができていないかといった「施策への貢献」という面からの考慮は十分にはなされてはいませんでした。

これからの行政評価(事務事業評価)では、まず、施策ごとに『狭山市を取り巻く社会情勢等と、それらに起因するニーズや問題点及び行政の役割【外部要因】』を的確に捉え、さらに、『狭山市が持つ行政経営上の強みと行政経営上の弱み(課題)【内部要因】』を把握することから始めます。

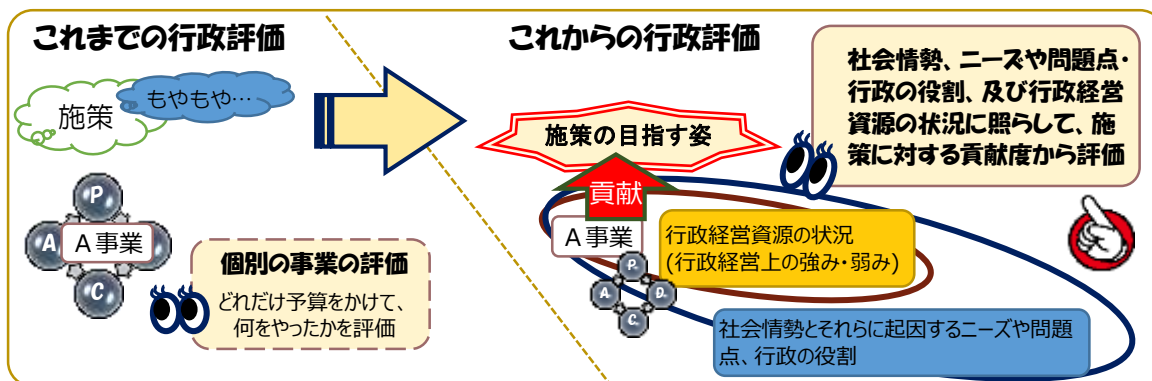
図1 ◆ 行政評価における外部要因と内部要因

行政評価では、事務事業に影響を与える要因を、外部要因と内部要因に分けて把握するとともに、各々の要因にいかに対応(活用、克服、改善等)して施策の具現化に貢献したかを評価します。

外部要因		狭山市を取り巻く社会環境 社会情勢、民間や他の行政機関(国、県、他自治体)等の動向、並びにこれらに起因するニーズや問題点及び行政に求められる役割
内部要因		
行政経営 [人・物・金・情報に関わるもの]		
内部要因	強み	事務事業に対してプラスに働く「狭山市が持つ行政経営上の強み」 →優位的立場、得意分野、他にはない優れている点
	弱み	事務事業に対してマイナスに働く「狭山市が抱える行政経営上の弱み(課題)」 →改善や克服すべき行政内部の課題や問題点

このことにより、施策の背景が明らかになり、施策における個々の事務事業の位置付けや役割も客観的に把握できるようになります。そして、その位置づけや役割を基に、「個々の事務事業が施策に対して最大の効果を生むことができるように、行政経営資源(人・物・金・情報)を投資する」という視点から、事務事業の貢献度(必要性・効率性)を評価するとともに、今後の「方向性」を見極めていきます。

図 2



② 「職員の意識改革」という視点

事務事業を評価するにあたり、職員一人ひとりが、「何のために」、「誰のために」、「ニーズはあるか」、「連携して課題に取り組む関係団体や事業者等（以下「パートナー」という。）は誰か」、「民間に代替できるものはないか」、「方法は適切か」、「強化か、改善か、廃止か」・・・などを常に意識していきます。

③ 行政活動を「見える化」という視点

市民と行政が、共通理解の下で協働して事業やまちづくりを進めていくためには、行政が行う活動を「見える化」することが前提となります。

そのために、行政活動の最小単位である「事務事業」の内容を、客観的な指標（外部要因・内部要因）による評価を通じて明らかにし、行政の「見える化」の具現化を図っていきます。

2 評価の手法

【外部要因】、【内部要因】を明らかにした『評価フレーム』を活用した事務事業評価

図 1 で示した【外部要因】、【内部要因】を、SWOT 分析の手法を行政評価に適すようにアレンジして施策ごとに作成した『評価フレーム』（※図3）を活用して、施策の目標に対する貢献度（必要性・効率性）及び方向性について、個々の事務事業を評価します。

図 3

◆ SWOT分析とは

民間では頻繁に用いられている手法で、投資に値する事業か、撤退すべき事業かなどを 4 つの要因から明らかにするものです。要因は、外部要因と内部要因に大別され、さらに外部要因は、機会 (Opportunity) と脅威 (Threat)、内部要因は、事業主体が持つ強み (Strength) と弱み (Weakness)、に分類されます。

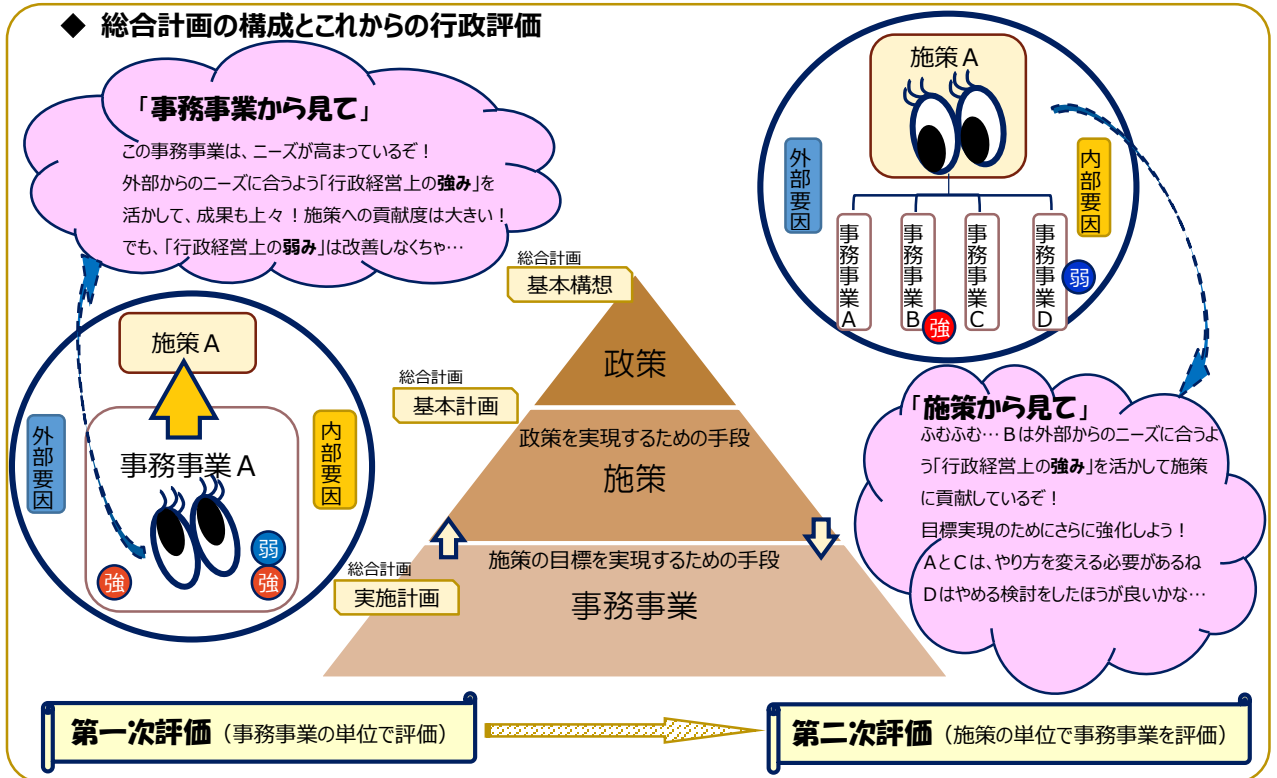
◆ SWOT分析をアレンジした『評価フレーム』

SWOT 分析を行政評価に応用し作成したのが、下の「評価フレーム」です。4 つの要因の内、評価対象の事務事業に影響を与える要因をクロスして当てはまるエリアを基に、現在の位置づけを明らかにし、今後の方向性を評価していきます。

評価フレーム		内部要因	
		行政経営上の強み 【行政・パートナー】	行政経営上の弱み 【行政・パートナー】
外部要因	ニーズ・行政の役割 (増加)	強化又は現行どおり	改善
	ニーズ・行政の役割 (減少)	縮小	撤退

図 4

◆ 総合計画の構成とこれからの行政評価



3 行政評価の概要

事務事業評価（第一次評価）…＜事業の所管課による自己評価・事後評価＞

① 評価対象

総合計画の実施計画に掲げた事業を評価対象とします。

ただし、以下の事業は対象から外します。

- ・法令等で実施することが定められているもの、及び市の裁量が及ぶ範囲が極めて小さいもの
- ・事務事業の内容が主に内部管理に関わるもの
- ・その他、評価に馴染まないと認められるもの

② 評価方法

- (ア) 評価者 事務事業を所管する課(所・室)の長
- (イ) 評価項目 「必要性」、「効率性」【非常に高い/高い/普通/低/かなり低い】
「方向性」【現行どおり/改善・効率化/廃止/完了】
- (ウ) 具体的な手法
- ・『評価フレーム』を活用して、「行政を経営する」という視点から評価します
 - ・「必要性」、「効率性」は、『評価フレーム』の外部要因、内部要因に照らしながら、当てはまる要因の数により、その評価を決定します
 - ・「方向性」は、「必要性」、「効率性」で評価された外部要因、内部要因を『評価フレーム』上でクロスさせ、そこから得られた状況により、第一次の評価として判定します
 - ・「方向性」及び評価の根拠とした外部要因、内部要因について、理由や内容を示します
 - ・前年度の評価で、「方向性」が【改善、効率化】であった事務事業は、その実績を示します

事務事業評価(第二次評価)・・・<庁内評価委員会による経営的視点からの評価>

① 評価対象

総合計画・前期基本計画に掲げられた施策から、行政評価庁内評価委員会が複数の施策を選定し、その施策を構成する全ての事務事業を第二次評価の対象とします。

※ 第二次評価は、施策を単位として対象を選定しますが、その施策を構成する「個別の事務事業」について評価することから、評価の種類としては、『事務事業評価』となります

② 評価方法

(ア) 評価者 行政評価庁内評価委員会〔構成員：各部政策調整統括者〕

(イ) 評価項目 「方向性」 【現行どおり/改善・効率化/廃止/完了】

その他の評価

- ・『施策評価』は、必要に応じ実施します(総合計画の前期、後期の最終年度等)。
- ・『第三者評価』の実施に関することは、「行財政改革推進委員会(審議会)」において決定します。

4 評価結果の活用

事務事業評価(第一次評価・第二次評価)の結果は、行財政改革推進会議(庁内会議)への報告及び確認の後、行財政改革推進委員会(審議会)並びに市議会へ報告するとともに、ウェブサイト等で市民に公表します。

あわせて、次のとおり活用します。

① 所管課(所・室)における活用

事務事業評価の結果を踏まえて、事務事業を所管する課(所・室)においては、必要に応じて当該事務事業の改善等を速やかに実施し、実施計画や次期総合計画に反映させます。

また、総合計画、行政経営、人事、財政の各所管課においては、評価結果及び改善等の内容を精査し、事務事業等に関する計画、予算及び組織体制等に反映させます。

② 庁内会議(行財政改革推進会議・事務改善委員会等)での検討等

事務事業評価の結果により、効率的で効果的な行政サービスを推進するために「早急に見直しが必要」と認められた事務事業については、行財政改革推進会議や事務改善委員会等において見直し内容や今後の方向性について検討します。

Ⅲ 平成30年度行政評価の実施結果

1 第一次評価実施結果

(1) 実施状況

- ① 実施期間 平成30年6月7日～6月22日
- ② 評価件数 198件
- ③ 評価者 事務事業を所管する課(所・室)の長
- ④ 評価対象 総合計画の実施計画に掲げた事業

(2) 評価結果の集計 ※構成比は小数点第2位を四捨五入(合計を100%にするため端数を調整)

① 個別評価

ア 必要性

評 価	件数	構成比
非常に高い	119 件	60.1%
高 い	69 件	34.8%
普 通	9 件	4.6%
低 い	1 件	0.5%
かなり低い	0 件	0%
合 計	198 件	100.0%

イ 効率性

評 価	件数	構成比
非常に高い	56 件	28.3%
高 い	100 件	50.5%
普 通	25 件	12.6%
低 い	13 件	6.6%
かなり低い	4 件	2.0%
合 計	198 件	100.0%

② 今後の方向性 ※括弧は「改善、効率化」の内訳

評 価	件数	構成比	前年度	
			件数	構成比
現行どおり	45 件	22.7%	175 件	84.9%
改善、効率化	149 件	75.3%	29 件	14.1%
(強みを伸ばす)	(100 件)			
(弱みを克服する)	(33 件)			
(手法・手段を見直す)	(15 件)			
(事業を縮小する)	(1 件)			
廃 止	0 件	0%	0 件	0%
完 了	4 件	2.0%	2 件	1.0%
合 計	198 件	100.0%	206 件	100.0%

※「改善、効率化」と評価した事務事業は、さらに、その内容を評価します

※各事務事業の今後の方向性は、行政評価の評価結果のみにより結論に至るものではなく、さらに多様な視点から検討したうえで判断することになります

2 第一次評価結果一覧

※章・施策は「第4次狭山市総合計画・前期基本計画」の体系です

章	施策	事務事業	必要性	効率性	方向性 (第一次)	改善、効率 化の内容	第二次評価 対象事業	所管名称 部 課
第1章 環境共生 （緑豊かで環境と共生するまちをめざして）	施策1 環境保全の体制 の充実	環境パートナーシップ形成事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			環境経済部 環境課
		環境基本計画推進事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			環境経済部 環境課
	施策2 地球環境の保全	地球温暖化対策推進事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			環境経済部 環境課
		住宅用省エネルギーシステム 設置補助事業	高い	非常に高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		環境経済部 環境課
	施策3 環境に対する意 識の向上	環境学習推進事業	高い	非常に高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		環境経済部 環境課
		環境学習推進事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			学校教育部 教育セン ター
	施策4 緑地の保全と活 用	緑地指定公有地化事業	非常に高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		都市建設部 みどり公園 課
		斜面緑地樹木更新等事業	非常に高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		都市建設部 みどり公園 課
		身近なみどり保全活用事業	非常に高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		都市建設部 みどり公園 課
		緑地保全活動推進事業	非常に高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		都市建設部 みどり公園 課
	施策5 環境保全対策の 推進	公害対策指導監督事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり		対象	環境経済部 環境課
		環境調査事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり		対象	環境経済部 環境課
		ダイオキシン類対策事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり		対象	環境経済部 環境課
	施策6 環境の美化と生 活環境の保全	環境美化推進事業	高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		環境経済部 環境課
		不法投棄防止対策事業	高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		環境経済部 環境課
		水辺環境美化活動事業	高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		環境経済部 環境課
	施策7 ごみの減量化と リサイクルの推 進	ごみ減量推進事業	非常に高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		環境経済部 資源循環推 進課
		資源物集団回収促進事業	高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		環境経済部 資源循環推 進課
		家庭系生ごみリサイクル事業	非常に高い	普通	改善、効率 化	手法手段を 見直す		環境経済部 資源循環推 進課
		剪定枝等リサイクル事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			環境経済部 資源循環推 進課
		焼却灰セメント等資源化事業	非常に高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		環境経済部 稲荷山環境 センター
	施策8 廃棄物の適正な 処理	稲荷山環境センター設備改修 事業	非常に高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		環境経済部 稲荷山環境 センター
		一般廃棄物処理施設跡地利用 事業	非常に高い	普通	改善、効率 化	弱みを克服 する		環境経済部 資源循環推 進課
第2章 健康福祉	施策9 福祉の総合的な 推進	地域福祉活動参加促進事業	非常に高い	低い	改善、効率 化	弱みを克服 する		福祉こども 部 福祉政策課
		地域福祉支援体制整備事業	非常に高い	低い	改善、効率 化	弱みを克服 する		福祉こども 部 福祉政策課
		地域福祉活動環境整備事業	非常に高い	低い	改善、効率 化	弱みを克服 する		福祉こども 部 福祉政策課
		権利擁護事業利用支援事業	非常に高い	普通	改善、効率 化	手法手段を 見直す		長寿健康部 長寿安心課
	施策10 健康づくりの推 進	健康づくり推進事業	非常に高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		長寿健康部 健康づくり 支援課
		ふれあい健康センター管理事 業	普通	普通	改善、効率 化	手法手段を 見直す		長寿健康部 健康づくり 支援課
		食育推進事業	高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		長寿健康部 保健セン ター
	施策11 保健予防の充実	母子保健事業	非常に高い	普通	改善、効率 化	弱みを克服 する		長寿健康部 保健セン ター
		母子保健型利用者支援事業 (総合戦略事業)	高い	普通	改善、効率 化	手法手段を 見直す		長寿健康部 保健セン ター
		成人保健事業	高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		長寿健康部 保健セン ター
	施策12 地域医療体制の 充実	第二次救急医療体制支援事業	高い	普通	改善、効率 化	弱みを克服 する		長寿健康部 健康づくり 支援課
		初期救急医療体制整備事業	低い	非常に高い	改善、効率 化	事業を縮小 する		長寿健康部 健康づくり 支援課
	施策13 高齢者の生活の 充実	敬老事業	普通	高い	改善、効率 化	手法手段を 見直す		長寿健康部 長寿安心課
		生きがいづくり事業	高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		長寿健康部 長寿安心課

章	施策	事務事業	必要性	効率性	方向性 (第一次)	改善、効率 化の内容	第二次評価 対象事業	所管名称 部 課
第2章 健康福祉 く 幸せに生き生きと暮らせるまちをめざして	施策14 地域包括ケアの 推進	包括的支援事業	高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す	対象	長寿健康部 長寿安心課
		地域ケア会議推進事業	高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す	対象	長寿健康部 長寿安心課
		一般介護予防事業	高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す	対象	長寿健康部 長寿安心課
		生活支援体制整備事業	高い	普通	改善、効率 化	弱みを克服 する	対象	長寿健康部 長寿安心課
		認知症施策推進事業	高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す	対象	長寿健康部 長寿安心課
		在宅医療・介護連携推進事業	非常に高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す	対象	長寿健康部 長寿安心課
		高齢者支援事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり		対象	長寿健康部 長寿安心課
	施策15 介護サービスの 充実	介護サービス給付事業	非常に高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		長寿健康部 長寿安心課
	施策16 障害者の自立支 援の促進	障害福祉サービス利用促進事 業	非常に高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		福祉こども 部 障害者福祉 課
		青い実学園療育事業	非常に高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		福祉こども 部 青い実学園
		地域活動支援センター（精神 小規模型）運営費補助事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			福祉こども 部 障害者福祉 課
		障害者相談支援事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			福祉こども 部 障害者福祉 課
	施策17 障害者の社会参 加の促進	障害者就労支援事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			福祉こども 部 障害者福祉 課
		文化・スポーツ等参加促進事 業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			福祉こども 部 障害者福祉 課
		バリアフリー化推進事業	非常に高い	普通	改善、効率 化	弱みを克服 する		福祉こども 部 障害者福祉 課
	施策18 仕事と子育ての 両立支援	公立保育所保育事業	非常に高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		福祉こども 部 保育幼稚園 課
		公立保育所給食調理業務委託 事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			福祉こども 部 保育幼稚園 課
		民間保育所等支援事業	非常に高い	かなり低い	改善、効率 化	弱みを克服 する		福祉こども 部 保育幼稚園 課
		公立保育所改修整備事業	非常に高い	普通	改善、効率 化	弱みを克服 する		福祉こども 部 保育幼稚園 課
		民間保育所等施設整備補助事 業	非常に高い	普通	改善、効率 化	弱みを克服 する		福祉こども 部 保育幼稚園 課
		学童保育室改修整備事業	非常に高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		学校教育部 学務課
		子育て支援事業	非常に高い	普通	改善、効率 化	弱みを克服 する	対象	福祉こども 部 こども支援 課
	施策19 子育て支援の充 実	こども医療費支給事業	非常に高い	普通	改善、効率 化	弱みを克服 する	対象	福祉こども 部 こども支援 課
		家庭児童相談事業	高い	普通	改善、効率 化	弱みを克服 する	対象	福祉こども 部 こども支援 課
		子育て支援ネットワーク事業	非常に高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す	対象	福祉こども 部 こども支援 課
		児童館管理事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり		対象	福祉こども 部 こども支援 課
		母子家庭等自立支援事業	非常に高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		福祉こども 部 こども支援 課
	施策20 ひとり親家庭な どの自立支援の 推進	母子家庭等自立支援事業	非常に高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		福祉こども 部 こども支援 課
	施策21 要保護児童対策 の充実	要保護児童対策事業	非常に高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		福祉こども 部 こども支援 課
	施策22 社会保障制度の 円滑な運用	生活保護受給者就労支援事業	非常に高い	低い	改善、効率 化	弱みを克服 する		福祉こども 部 生活福祉課
		介護保険自己負担額等助成事 業	非常に高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		長寿健康部 長寿安心課

第3章 都市基盤	施策23 都市機能の向上	狭山市駅東口土地区画整理事 業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			都市建設部 狭山市駅東 口土地区画 整理事務所
		入曽駅周辺整備事業（総合戦 略事業）	非常に高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		都市建設部 都市計画課
	施策24 道路ネットワ ークの構築	狭山市駅上諏訪線整備事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			都市建設部 街路整備課
		狭山市駅加佐志線整備事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			都市建設部 街路整備課
		笹井柏原線整備事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			都市建設部 街路整備課
		一般市道整備事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			都市建設部 道路雨水課

章	施策	事務事業	必要性	効率性	方向性 (第一次)	改善、効率 化の内容	第二次評価 対象事業	所管名称 部 課
第3章 都市基盤 く快適な都市空間を形成するまちをめざして	施策25 公共交通の充実	市内循環バス運行事業	高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		市民部 交通防犯課
	施策27 安全で快適な道路環境の整備	道路修繕事業	非常に高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		都市建設部 道路雨水課
		橋りょう維持保全事業	非常に高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		都市建設部 道路雨水課
		放置自転車対策事業	高い	非常に高い	改善、効率化	強みを伸ばす		市民部 交通防犯課
		狭山市駅西口自転車駐車場管理事業	高い	非常に高い	改善、効率化	強みを伸ばす		市民部 交通防犯課
		狭山市駅西口駐車場管理事業	高い	非常に高い	改善、効率化	強みを伸ばす		市民部 交通防犯課
	施策28 総合的な雨水対策の推進	雨水貯留浸透施設設置補助事業	高い	非常に高い	改善、効率化	強みを伸ばす		都市建設部 道路雨水課
		水路改良事業	非常に高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		都市建設部 道路雨水課
		雨水対策事業	非常に高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		都市建設部 道路雨水課
	施策29 公園整備・都市緑化の推進	身近な公園整備事業	高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		都市建設部 みどり公園課
		入間川とことん活用プロジェクト事業（総合戦略事業）	非常に高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		環境経済部 商業観光課
		市街地緑化推進事業	非常に高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		都市建設部 みどり公園課
	施策30 計画的な土地利用転換	土地利用転換推進事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			都市建設部 都市計画課
		狭山工業団地拡張地区基盤整備事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			都市建設部 都市計画課
	施策31 水道の整備	水質管理事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			上下水道部 水道施設課
		浄配水施設更新事業	高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		上下水道部 水道施設課
		老朽管更新事業	非常に高い	低い	改善、効率化	弱みを克服する		上下水道部 水道施設課
		危機管理体制強化事業	非常に高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		上下水道部 水道施設課
		漏水対策事業	非常に高い	低い	改善、効率化	弱みを克服する		上下水道部 水道施設課
	施策32 公共下水道の整備	公共下水道（汚水）市街化調整区域第4期整備事業	高い	普通	改善、効率化	弱みを克服する		上下水道部 下水道施設課
		公共下水道（汚水）市街化区域整備事業	高い	普通	改善、効率化	弱みを克服する		上下水道部 下水道施設課
		公共下水道雨水枝線整備事業	非常に高い	低い	改善、効率化	弱みを克服する		上下水道部 下水道施設課
		水洗化改造工事資金助成事業	高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		上下水道部 下水道施設課
		下水道長寿命化対策事業	非常に高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		上下水道部 下水道施設課
		下水道総合地震対策事業	非常に高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		上下水道部 下水道施設課
		経営基盤強化事業（下水道事業）	高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		上下水道部 経営課
第4章 産業経済	施策33 新たな企業・事業者の育成	企業立地促進事業	非常に高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		環境経済部 産業振興課
		インキュベーションセンター管理事業	普通	普通	改善、効率化	手法手段を見直す		環境経済部 産業振興課
	施策34 地域産業の支援の充実	中小企業制度融資あっせん事業	普通	高い	改善、効率化	手法手段を見直す		環境経済部 商業観光課
		産業労働センター管理事業	非常に高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		環境経済部 産業振興課
	施策35 地域商業の活性化	商業支援事業	高い	低い	改善、効率化	弱みを克服する		環境経済部 商業観光課
		中心市街地活性化事業	高い	普通	改善、効率化	手法手段を見直す		環境経済部 商業観光課
	施策36 工業の活性化	工業支援事業	高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす	対象	環境経済部 産業振興課
		ふるさとモノづくり応援プロジェクト事業（総合戦略事業）	非常に高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす	対象	環境経済部 産業振興課

章	施策	事務事業	必要性	効率性	方向性 (第一次)	改善、効率化の内容	第二次評価 対象事業	所管名称 部 課
Ⅴ 活力のある産業を育てるまちをめざして	施策37 農業の活性化	農業振興事業	高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		環境経済部 農業振興課
		狭山茶消費拡大振興事業	高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		環境経済部 農業振興課
		農業担い手育成事業	高い	低い	改善、効率化	弱みを克服する		環境経済部 農業振興課
		学童農業体験事業	高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		環境経済部 農業振興課
		農業施設管理事業	高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		環境経済部 農業振興課
		農業基盤整備促進事業	高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		環境経済部 農業振興課
	施策38 狭山の地域資源を活用した観光の推進	観光振興事業	高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		環境経済部 商業観光課
	施策39 雇用の促進と勤労者福祉の充実	就労支援事業	高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		環境経済部 産業振興課
		狭山市勤労者福祉サービスセンター運営費補助事業	普通	高い	改善、効率化	手法手段を見直す		環境経済部 産業振興課
		中小企業退職金共済制度加入促進事業	普通	普通	改善、効率化	手法手段を見直す		環境経済部 産業振興課

第5章 教育文化 人を育み文化を創造するまちをめざして	施策40 生涯学習の促進	生涯学習推進事業	高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		生涯学習部 社会教育課
		生涯学習活動支援事業	高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		生涯学習部 社会教育課
		富士見集会所改修整備事業	高い	高い	完了			生涯学習部 社会教育課
		富士見集会所耐震補強事業	高い	高い	完了			生涯学習部 社会教育課
		新狭山公民館更新事業	非常に高い	非常に高い	完了			生涯学習部 社会教育課
		レファレンスサービス（資料相談業務）事業	高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		生涯学習部 中央図書館
	施策41 生涯スポーツの促進	市民スポーツ促進事業	高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		生涯学習部 スポーツ振興課
		競技スポーツ振興事業	非常に高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		生涯学習部 スポーツ振興課
	施策42 教育の内容及支援の充実	教育活動事業	普通	非常に高い	改善、効率化	手法手段を見直す		学校教育部 教育指導課
		教職員研修事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			学校教育部 教育センター
		調査研究事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			学校教育部 教育センター
		小学校文化・スポーツ活動支援事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			生涯学習部 教育総務課
		中学校文化・スポーツ活動支援事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			生涯学習部 教育総務課
		中学校文化・スポーツ活動支援事業	非常に高い	普通	改善、効率化	弱みを克服する		学校教育部 教育指導課
		介助員（特別支援教育）配置事業	非常に高い	かなり低い	改善、効率化	弱みを克服する		学校教育部 教育指導課
		教育指導支援事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			学校教育部 教育指導課
		教育相談事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			学校教育部 教育センター
		小学校就学援助事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			学校教育部 学務課
		中学校就学援助事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			学校教育部 学務課
		幼稚園就園奨励事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			福祉こども部 保育幼稚園課
		奨学金貸与事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			学校教育部 学務課
	施策43 教育環境の充実	中学校校舎空調設備改修事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			生涯学習部 教育総務課
		教育情報ネットワーク運用事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			学校教育部 教育センター
		小学校校舎等改修事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			生涯学習部 教育総務課
		小学校校舎空調設備改修事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			生涯学習部 教育総務課
	施策44 家庭や地域との連携	学校支援事業	非常に高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		生涯学習部 社会教育課
		家庭教育支援事業	高い	非常に高い	改善、効率化	強みを伸ばす		生涯学習部 社会教育課
		地域子ども教室推進事業	高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		生涯学習部 社会教育課

章	施策	事務事業	必要性	効率性	方向性 (第一次)	改善、効率 化の内容	第二次評価 対象事業	所管名称 部 課
第5章 教育文化	施策45 青少年の健全育 成	青少年健全育成事業	非常に高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		生涯学習部 社会教育課
		更生保護活動支援事業	非常に高い	低い	改善、効率 化	弱みを克服 する		福祉こども 部 福祉政策課
	施策46 人権尊重意識の 高揚	人権施策推進事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			総合政策部 政策企画課
		人権施策推進事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			生涯学習部 社会教育課
	施策47 平和意識の高揚	平和意識高揚事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			総合政策部 政策企画課
		平和意識高揚事業	高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		生涯学習部 社会教育課
	施策48 創造性豊かな文 化の振興	文化活動促進事業	高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		市民部 市民文化課
		文化財保護事業	高い	普通	改善、効率 化	手法手段を 見直す		生涯学習部 社会教育課
		文化財発掘調査事業	非常に高い	普通	改善、効率 化	手法手段を 見直す		生涯学習部 社会教育課
	施策49 国際交流の推進	姉妹・友好都市交流支援事業	高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		市民部 市民文化課
		国際交流推進事業	高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		市民部 市民文化課

第6章 市民生活 安全で安心して暮ら せるまちをめざして	施策50 地域コミュニ ティの活性化	コミュニティ推進組織育成事 業	高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		市民部 協働自治推 進課
		地区まちづくり推進事業	高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		市民部 地区セン ター
		コミュニティ施設特別整備事 業	非常に高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		市民部 協働自治推 進課
		入曽地区地域交流施設（仮 称）整備事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			市民部 市民文化課
	施策51 男女共同参画の 推進	男女共同参画推進事業	高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		市民部 市民文化課
	施策52 安全・安心な消 費生活の実現	消費者行政推進事業	高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		市民部 市民文化課
	施策53 地域情報化の推 進	市民交流促進総合ポータルサ イト事業	高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		市民部 市民文化課
	施策54 住宅などの適正 な管理	市営住宅鶴ノ木団地建替事業	高い	高い	完了			都市建設部 住宅営繕課
		既存市営住宅改修等事業	高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		都市建設部 住宅営繕課
		民間建築物耐震改修等促進助 成事業	普通	高い	改善、効率 化	弱みを克服 する		都市建設部 建築審査課
	施策55 総合的な危機管 理防災体制の充 実	防災体制強化事業	非常に高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		市民部 危機管理課
		危機管理体制構築事業	非常に高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		市民部 危機管理課
		自主防災組織育成事業	非常に高い	低い	改善、効率 化	弱みを克服 する		市民部 危機管理課
		災害応急対策事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			市民部 危機管理課
		防災設備整備事業	非常に高い	普通	改善、効率 化	手法手段を 見直す		市民部 危機管理課
	施策56 消防・救急体制 の充実	非常備消防機械施設等整備事 業	非常に高い	普通	改善、効率 化	弱みを克服 する		市民部 危機管理課
	施策57 地域との連携に よる交通安全対 策	交通安全推進事業	高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		市民部 交通防犯課
		交通安全施設整備事業	非常に高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		市民部 交通防犯課
	施策58 地域との連携に よる防犯対策	防犯推進事業	高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		市民部 交通防犯課
		防犯設備整備事業	高い	非常に高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		市民部 交通防犯課
	施策59 基地周辺環境の 整備の推進	基地関連要望活動事業	非常に高い	高い	改善、効率 化	強みを伸ば す		総合政策部 基地対策課
		基地関連障害対策事業	非常に高い	かなり低い	改善、効率 化	弱みを克服 する		総合政策部 基地対策課

章	施策	事務事業	必要性	効率性	方向性 (第一次)	改善、効率化の内容	第二次評価 対象事業	所管名称 部 課
第7章 計画推進 の 構 想 実 現 の た め に	施策60 協働の推進	市民参画（協働）推進事業	非常に高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		市民部 協働自治推進課
		狭山元気プラザ管理事業	非常に高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		市民部 協働自治推進課
		市民大学事業	非常に高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		市民部 協働自治推進課
	施策61 積極的な情報発信と情報活用 の促進	広報さやま発行事業	高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		総合政策部 広報課
		シティプロモーション推進事業	高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		総合政策部 広報課
		情報公開推進事業	非常に高い	かなり低い	改善、効率化	弱みを克服する		総務部 総務課
		広聴活動事業	非常に高い	低い	改善、効率化	弱みを克服する		総合政策部 広報課
	施策62 効率的・効果的な行政運営の推進	行政評価実施事業	高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす	対象	総合政策部 行政経営課
		埼玉県西部地域まちづくり計画（ダイアプラン）推進事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり		対象	総合政策部 政策企画課
		指定管理者制度運用事業	高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす	対象	総合政策部 政策企画課
		情報化推進事業	非常に高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす	対象	総合政策部 情報政策課
	施策63 健全な財政運営の推進	市税等納税促進事業	非常に高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		総務部 収税課
		ふるさと納税事業	普通	高い	改善、効率化	弱みを克服する		総合政策部 財政課
	施策64 公共施設等の計画的な管理と統合・廃止	公共建築物等再編統合事業	高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		総合政策部 行政経営課
		公共建築物耐震改修事業	非常に高い	非常に高い	現行どおり			市民部 市民文化課
		市庁舎設備等改修事業	非常に高い	普通	改善、効率化	手法手段を見直す		総務部 財産管理課
	施策65 機能的で活力のある組織運営の推進	定員適正化推進事業	高い	低い	改善、効率化	弱みを克服する		総合政策部 行政経営課
		職員研修事業	高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		総務部 職員課
	施策66 まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進	親元同居・近居支援事業（総合戦略事業）	非常に高い	非常に高い	現行どおり			総合政策部 政策企画課
		婚活支援事業（総合戦略事業）	非常に高い	高い	改善、効率化	強みを伸ばす		総合政策部 政策企画課

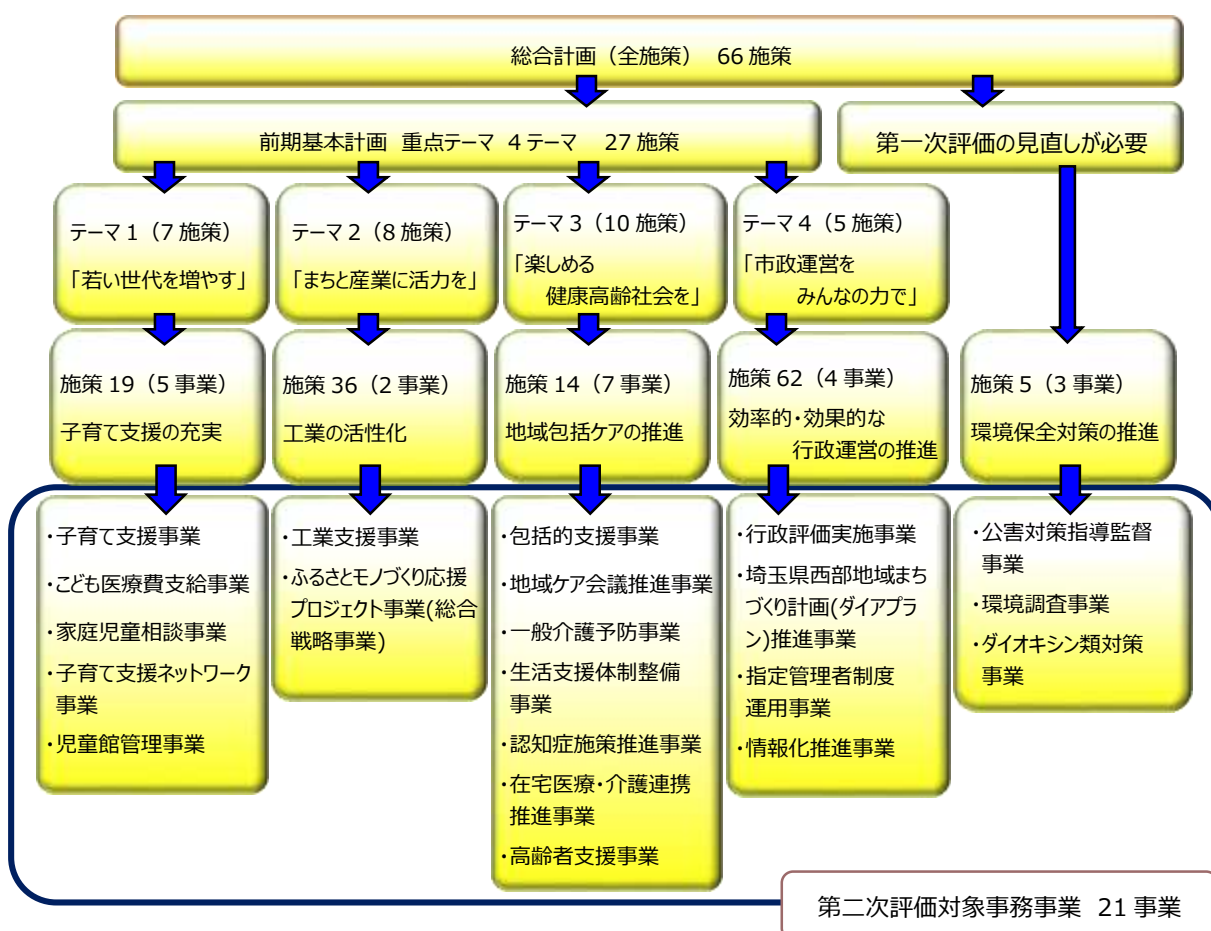
3 第二次評価実施結果

(1) 実施状況

- ① 実施期間 平成30年6月25日～7月25日
- ② 評価件数 21件
- ③ 評価者 行政評価庁内評価委員会〔構成員：各部政策調整統括者〕
- ④ 評価対象 行政評価庁内評価委員会が選定した次の事務事業

第二次評価の対象とする施策及び事務事業

第4次総合計画・前期基本計画の4つの『重点テーマ』ごとに、施設整備等の事業が多くを占める施策以外を対象に1施策を選定。このほか、『第一次評価結果の見直しが特に必要と判断したもの』として1施策を選定し、これらの施策を構成する事務事業を評価対象としました(全21事務事業)。



(2) 評価結果の集計

第二次評価は、次の視点により「今後の方向性」を評価しました。

- ① 個別の事務事業に影響を与える【外部要因】及び【内部要因】について、第一次評価における捉え方が妥当であるかという視点
- ② 「施策」の目標に対する必要性や課題解決に対する貢献度、同じ「施策」に位置付けられている他の事業との関係から見た相乗効果等、経営的な視点

今後の方向性 ※括弧は「改善、効率化」の内訳

評 価	第一次評価	第二次評価
	件数	件数
現行どおり	6 件	3 件
改善、効率化	15 件	18 件
(強みを伸ばす)	(11 件)	(10 件)
(弱みを克服する)	(4 件)	(5 件)
(手法・手段を見直す)	(0 件)	(3 件)
(事業を縮小する)	(0 件)	(0 件)
廃 止	0 件	0 件
完 了	0 件	0 件
合 計	21 件	21 件

4 第二次評価結果一覧

施策	事務事業	第一次評価		→	第二次評価	
		評 価	(改善効率化の内容)		評 価	(改善効率化の内容)
5	公害対策指導監督事業	現行どおり		→	現行どおり	
	環境調査事業	現行どおり		→	現行どおり	
	ダイオキシン類対策事業	現行どおり		→	現行どおり	
14	包括的支援事業	改善、効率化	強みを伸ばす	→	改善、効率化	弱みを克服する
	地域ケア会議推進事業	改善、効率化	強みを伸ばす	→	改善、効率化	弱みを克服する
	一般介護予防事業	改善、効率化	強みを伸ばす	→	改善、効率化	弱みを克服する
	生活支援体制整備事業	改善、効率化	弱みを克服する	→	改善、効率化	弱みを克服する
	認知症施策推進事業	改善、効率化	強みを伸ばす	→	改善、効率化	弱みを克服する
	在宅医療・介護連携推進事業	改善、効率化	強みを伸ばす	→	改善、効率化	強みを伸ばす
	高齢者支援事業	現行どおり		→	改善、効率化	手法、手段を見直す
19	子育て支援事業	改善、効率化	弱みを克服する	→	改善、効率化	強みを伸ばす
	こども医療費支給事業	改善、効率化	弱みを克服する	→	改善、効率化	強みを伸ばす
	家庭児童相談事業	改善、効率化	弱みを克服する	→	改善、効率化	強みを伸ばす
	子育て支援ネットワーク事業	改善、効率化	強みを伸ばす	→	改善、効率化	強みを伸ばす
	児童館管理事業	現行どおり		→	改善、効率化	強みを伸ばす
36	工業支援事業	改善、効率化	強みを伸ばす	→	改善、効率化	強みを伸ばす
	ふるさとモノづくり応援プロジェクト事業（総合戦略事業）	改善、効率化	強みを伸ばす	→	改善、効率化	強みを伸ばす
62	行政評価実施事業	改善、効率化	強みを伸ばす	→	改善、効率化	手法、手段を見直す
	埼玉県西部地域まちづくり計画(ダイアプラン)推進事業	現行どおり		→	改善、効率化	手法、手段を見直す
	指定管理者制度運用事業	改善、効率化	強みを伸ばす	→	改善、効率化	強みを伸ばす
	情報化推進事業	改善、効率化	強みを伸ばす	→	改善、効率化	強みを伸ばす

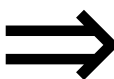
第二次評価表

総合計画

第1章	環境共生 ～緑豊かで環境と共生するまちをめざして～	第5節	快適な生活環境の確保
施策5	環境保全対策の推進		
施策の 目指す姿	工場や事業所において、水質汚濁や大気汚染などに関する法令が遵守されるとともに、国、県、市において環境への負担を減らす対策や公害への対策が適切に実施されることにより、環境汚染が未然に防止されています。		
施策の課題	水質や大気、生活環境を保全するためには、実態把握と適切な対応のもと、規制基準の遵守徹底や生活排水処理の適正化を継続することが必要です。		
主なとりくみ	(1) 水質・大気の汚染などの防止	● 水質汚濁防止法、大気汚染防止法、騒音規制法などに基づき、工場や特定事業所への立入検査を実施し（大気については事務を所管する県と情報を共有し）、規制基準の遵守徹底を指導するとともに、生活排水対策を計画的に推進します。	
	(2) 環境調査事業の充実	● 道路交通騒音、航空機騒音の実態把握や軽減対策のために、騒音に関するデータを継続的に収集し、状況に応じて必要な改善を関係機関へ要請します。また、生活騒音などの相談に対しては、適切かつ細やかな対応を図ります。 ● ダイオキシン類の発生を防止するため、野焼き防止パトロールを実施するとともに、環境への影響を継続的に調査し、経年変化などを把握します。	

施策番号	事務事業名	所管課
5	公害対策指導監督事業	環境課
方向性(第一次)		方向性(第二次)
現行どおり		現行どおり
(改善、効率化の内容)		(改善、効率化の内容)
第二次評価コメント		
当事業の調査結果では、国等が定めた規制基準を多くの事業所が達成しており、未達成の事業所に対しては改善指導している。 また、専門性の高い内容を含むが、直営部分と委託による役割が分担されており、現行どおりで支障ない。		

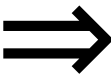
施策番号	事務事業名	所管課
5	環境調査事業	環境課
方向性(第一次)		方向性(第二次)
現行どおり		現行どおり
(改善、効率化の内容)		(改善、効率化の内容)
第二次評価コメント		
当事業の調査結果では、国が定めた環境基準を達成している。 また、専門性の高い内容を含むが、直営部分と委託による役割が分担されており、現行どおりで支障ない。		

施策番号	事務事業名	所管課
5	ダイオキシン類対策事業	環境課
方向性(第一次)		方向性(第二次)
現行どおり		現行どおり
(改善、効率化の内容)		(改善、効率化の内容)
第二次評価コメント		
当事業の調査結果では、国が定めた環境基準を達成している。 また、専門性の高い内容を含むが、直営部分と委託による役割が分担されており、現行どおりで支障ない。		

第二次評価表

総合計画

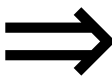
第2章	健康福祉 ～幸せに生き生きと暮らせるまちをめざして～	第3節	高齢者福祉の充実
施策14	地域包括ケアの推進		
施策の 目指す姿	医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスが一体的に提供され、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしています。		
施策の課題	高齢者が地域で安心して暮らせるよう、地域包括ケアシステム体制の整備が必要です。		
主なとりくみ	(1) 支援の拠点・ネットワークの充実	● 将来的な高齢者人口の増加などに対応した日常生活圏域の見直しに沿って、地域包括支援センターを計画的に整備します。 ● 地域ケア会議の開催により地域課題を抽出し、自治会、民生委員・児童委員、地域のボランティア団体などと連携して取り組むことで、支え合いのネットワークを充実します。	
	(2) 介護予防・生活支援の推進	● 高齢者ニーズの的確な把握を踏まえ、NPOやボランティア団体などと連携し、介護予防・生活支援サービスの提供体制を構築します。 ● 認知症予防のための講座や講演会、また、認知症相談会の開催などにより、認知症予防を推進します。	
	(3) 認知症ケアの向上と認知症を支える地域づくり	● 自治会、民生委員・児童委員、地域のボランティア団体などへの研修の実施などによる認知症ケアの向上と、認知症予防サポーターの養成などによる認知症を支える地域づくりを推進します。	
	(4) 医療と介護の連携の推進	● 医学的管理の必要性の高い在宅の高齢者などに対する、医療と介護の連携を推進します。	
	(5) 高齢者が安心して暮らせる環境の整備	● 高齢者が住み慣れた自宅で安心して暮らせるよう、住宅改修による居住環境の整備や各種福祉サービスをさらに推進するとともに、相談体制を充実します。 ● 成年後見制度を周知し、利用を促進するとともに、高齢者への虐待の防止や早期の発見に取り組みます。	

施策番号	事務事業名	所管課
14	包括的支援事業	長寿安心課
方向性(第一次)		方向性(第二次)
改善、効率化		改善、効率化
(改善、効率化の内容)		(改善、効率化の内容)
強みを伸ばす		弱みを克服する
第二次評価コメント		
高齢化の進行に伴い、包括的支援事業を担う、地域包括支援センターの重要性が増している。 これまでに、入間川・入間川東、富士見・中央、入曽・水野、堀兼・奥富・新狭山、柏原・水富、狭山台の6つの日常生活圏域を設定し、各々の圏域に地域包括支援センターを配置してきたが、このうち入曽・水野圏域と柏原・水富圏域では、高齢者人口が10,000人を超え、センター業務の遂行に困難を来す状況にあり「弱み」となっている。そのため、この2圏域をそれぞれ分割し、将来的な高齢者人口の増加などにも十分に対応できるよう、事業計画に沿ってセンターを増設することにより、「弱み」を克服することができるものと考え。 また、当事業は、医療法人または社会福祉法人に委託のうえ実施しているが、専門性の高い内容であるため、事業に対する助言、指導ができる市職員(専門職)の確保と育成も必要である。		

施策番号	事務事業名	所管課
14	地域ケア会議推進事業	長寿安心課
方向性(第一次)		方向性(第二次)
改善、効率化		改善、効率化
(改善、効率化の内容)		(改善、効率化の内容)
強みを伸ばす		弱みを克服する
第二次評価コメント		
地域ケア会議推進事業は、6つの日常生活圏域ごとに自治会員や民生委員などの地域活動者などが参加する「日常生活圏域会議」と理学療法士や管理栄養士などの多職種が参加する「自立支援型地域ケア会議」とで構成されており、2つの会議ともに、高齢者の自立に向けた個別的な協議をもとに、関係者間のネットワークを構築したうえで、地域の高齢者の生活課題を抽出し、これを集約することを最終的な目標としているが、現状では生活課題の抽出・集約までには至らず「弱み」となっている。そのため、関係者間のネットワークの更なる充実を図るとともに、地域の高齢者の生活課題の抽出・集約に向けて会議の運営方法を見直すことなどにより、「弱み」を克服することができるものと考え。 また、会議でのファシリテーションができるような専門性の高い市職員(専門職)の確保と育成も必要である。		

第二次評価表

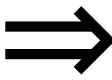
施策番号	事務事業名	所管課
14	一般介護予防事業	長寿安心課
方向性(第一次)		方向性(第二次)
改善、効率化 (改善、効率化の内容)		改善、効率化 (改善、効率化の内容)
強みを伸ばす		弱みを克服する
第二次評価コメント		
高齢者人口の増加等に伴い、介護予防・認知症予防に対する意識が高まる中で、当事業の必要性は高く、地域包括支援センターが主催する介護予防に関する講演会・講座・教室などにより、加齢に伴う心身の機能低下や認知症の予防、口腔機能の向上など、高齢者自らの主体的な介護予防・認知症予防が実践されており、効果的に機能している。 一方で、地域住民が自主的に身近な場所で実施する「いきいき百歳体操」においては、サポーターの人数が十分であるとは言えない現状にあり、市内全域での実施に至らず「弱み」となっている。そのため、市内全域での実施をめざし、更なるサポーターの養成に努めるとともに、高齢者等に対し「いきいき百歳体操」の参加に向けたより効果的な周知を図ることなどにより、「弱み」を克服することができるものとする。		

施策番号	事務事業名	所管課
14	生活支援体制整備事業	長寿安心課
方向性(第一次)		方向性(第二次)
改善、効率化 (改善、効率化の内容)		改善、効率化 (改善、効率化の内容)
弱みを克服する		弱みを克服する
第二次評価コメント		
要支援・要介護にならないまでも、加齢や疾病による心身の機能の低下に加え、一人暮らしなどの理由により、ゴミ出し補助、庭の掃除、移送、見守りなど、軽度な何らかの生活支援を必要とする高齢者が増加しており、こうした一人暮らし高齢者などへの対応に向けて、市内全域を念頭に置き事業の基盤となる第1層協議体を組織し、生活支援コーディネーターを配置したが、事業の具現化のための細分化した第2層協議体の形成が一部に止まっており、生活支援の提供には至らず「弱み」となっている。そのため、社会福祉協議会の支部を単位として市内全域に第2層協議体を組織したうえで、各々の協議体に生活支援コーディネーターを配置することにより、「弱み」を克服することができるものと考え		

施策番号	事務事業名	所管課
14	認知症施策推進事業	長寿安心課
方向性(第一次)		方向性(第二次)
改善、効率化		改善、効率化
(改善、効率化の内容)		(改善、効率化の内容)
強みを伸ばす		弱みを克服する
第二次評価コメント		
市内に所在する認知症疾患医療センター内に認知症初期集中支援チームを設置しており、かかりつけ医をもたない認知症の疑いのある方への早期診断・早期対応に向けた体制を整備しているが、活動実績が少ない現状にあり、チーム力を活かしていないことが「弱み」となっている。そのため、情報提供元となる地域包括支援センターの情報収集力をより一層高めるとともに、認知症初期集中支援チームへの情報提供のあり方を見直すなかで、同チームの更なる活用を促進することにより、「弱み」を克服することができるものとする。		

第二次評価表

施策番号	事務事業名	所管課
14	在宅医療・介護連携推進事業	長寿安心課
方向性(第一次)		方向性(第二次)
改善、効率化		改善、効率化
(改善、効率化の内容)		(改善、効率化の内容)
強みを伸ばす		強みを伸ばす
第二次評価コメント		
定期的な通院加療を必要とするものの一人暮らしなどの理由により、通院ができない高齢者を担当するケアマネジャーなどからの在宅医療に関する相談に応じることや在宅医療全般に関する情報提供のための拠点として、「在宅医療支援センター」を設置していることが「強み」となっている。しかしながら、当該センターの認知度はいまだ十分とは言えず、更なる活用に向けた周知とともに、入院・転院・退院を繰り返す高齢者は多く、そうした場合の相談にも応じ、きめ細かい対応を図るための医療と介護の関係者間でのネットワークづくりを引き続き進めることなどにより、「強み」を伸ばすことができるものと考える。		

施策番号	事務事業名	所管課
14	高齢者支援事業	長寿安心課
方向性(第一次)		方向性(第二次)
現行どおり		改善、効率化
(改善、効率化の内容)		(改善、効率化の内容)
		手法、手段を見直す
第二次評価コメント		
当事業は、自立支援のためのショートステイ、緊急通報サービス、住宅改修費に対する補助金の交付などで構成されており、いずれも高齢者が住み慣れた自宅で安心して自立した生活を送るためのものであるが、一部に介護保険の給付サービスに類似したものがあることから、手法や手段を見直す必要がある。		

第二次評価表

総合計画

第2章	健康福祉 ～幸せに生き生きと暮らせるまちをめざして～	第5節	児童福祉の充実
施策19	子育て支援の充実		
施策の 目指す姿	地域ぐるみの子育て支援の環境が整備されることにより、子育て家庭とその子どもが地域の人に支えられ、安心して子育て・子育てができています。		
施策の課題	少子化への対応、複雑多様化・増加する相談への対応、子育て情報の収集と的確な提供、子どもの居場所づくりのための児童館の活用など、子育て環境への総合的な取り組みが必要です。		
主なとりくみ	(1) 子育て支援サービスの充実	● 総合子育て支援センターを拠点として、子育てに関する情報の収集・発信を行うとともに、駅前の立地性を活かし、乳幼児とその親が気軽に集い、親子で交流できる場の提供や多様化する保育ニーズに対応するための一時預かり保育を充実します。 ● 子育てする親と子どもが気軽に集い、子育ての相談や情報収集、仲間づくりなどができる、地域での子育て支援の拠点となるつどいの広場事業を充実します。 ● 子どもへの必要な医療の提供と子育て家庭への経済的な支援のため、こども医療費の無料化を引き続き実施します。	
	(2) 相談体制の充実	● 子育て家庭が身近な地域で必要な支援が受けられるよう、子育て家庭と事業者をつなぐコーディネート機能を有したネットワークを充実し、きめ細かな情報を効果的・効率的に発信します。 ● 地域からの情報提供により、支援を必要とする家庭の把握に努めます。	
	(3) 子育て支援ネットワークの充実	● 子育て家庭が身近な地域で必要な支援が受けられるよう、子育て家庭と事業者をつなぐコーディネート機能を有したネットワークを充実し、きめ細かな情報を効果的・効率的に発信します。	
	(4) 児童館サービスの充実	● 子どもが安心して利用できる居場所づくりや地域との交流の場としての児童館サービスを充実します。	

施策番号	事務事業名	所管課
19	子育て支援事業	こども支援課
方向性(第一次)		方向性(第二次)
改善、効率化		改善、効率化
(改善、効率化の内容)		(改善、効率化の内容)
弱みを克服する		強みを伸ばす
第二次評価コメント		
「情報を集約し対応する体制」、「効果的な情報発信」、「NPOやボランティア、子育て支援ネットワーク、地域コミュニティや民生委員の連携」等、第一次評価では認識されていない行政経営上の「強み」が数多く存在している。これらを「強み」とした事業展開を図ることにより、「地域における人材確保の困難さ」といった大きな「弱み」が結果として克服されるだけでなく、事業を好循環に転換できると考える。 特に、「地域における人材確保の困難さ」という「弱み」は、同じ施策に属する他の事務事業でも「弱み」として捉えられており、この「弱み」の克服は、施策全体への貢献度としても効果が大きい。		

施策番号	事務事業名	所管課
19	こども医療費支給事業	こども支援課
方向性(第一次)		方向性(第二次)
改善、効率化		改善、効率化
(改善、効率化の内容)		(改善、効率化の内容)
弱みを克服する		強みを伸ばす
第二次評価コメント		
当事業の真の目的は、「経済的事情により、子どもが医療機関を受診する機会が失われないようにすること」であり、単なる経済的負担の軽減といった事業とは重みづけは異なる。 「市の財源不足への課題」は当然に存在する課題であり、行政経営上の「弱み」であるが、埼玉県に対して財源確保策として、就学前までの補助を小学生もしくは中学生まで延伸する、あるいは、18歳までの医療費無料化を国の施策として展開するよう働きかけるなど、行政だからこそできる「強み」を活かし、制度のさらなる強化・拡充を図っていくことこそが必要であり、改善の方向であると考える。		

第二次評価表

施策番号	事務事業名	所管課
19	家庭児童相談事業	こども支援課
方向性(第一次)		方向性(第二次)
改善、効率化 (改善、効率化の内容)		改善、効率化 (改善、効率化の内容)
弱みを克服する		強みを伸ばす
第二次評価コメント		
当事業の必要性は非常に高く、「相談や支えられることを望まない世帯がある」ということを加味しても、継続して実施することに疑いの余地はないが、施策レベルから俯瞰した場合、相談に至る前段階での支援、予防といった視座があっても良いのではないかと考える。 重症化する前に相談支援できることが理想であり、効果的である。そういった観点から内部要因を見直してみると、「情報発信力」、「子育て支援ネットワークの存在」、「地域コミュニティーや団体、民生委員等との連携」などの行政経営上の「強み」が多く存在していると思われ、これらを活用した事業展開を軸に事業を拡充することが、施策の目指す姿の実現に繋がると考える。		

施策番号	事務事業名	所管課
19	子育て支援ネットワーク事業	こども支援課
方向性(第一次)		方向性(第二次)
改善、効率化 (改善、効率化の内容)		改善、効率化 (改善、効率化の内容)
強みを伸ばす		強みを伸ばす
第二次評価コメント		
「子育て支援拠点の存在」や「民間事業者や子育て支援団体との連携」など行政経営上の「強み」を数多く有し、ニーズや役割も多いと思われる当事業は、「成長分野」とであると判断してよいのではないかと考える。 よって、これらの「強み」を活用して事業を展開していけば、行政活動としてのパフォーマンス向上も十分に期待できるものである。 そういった点からは、さらなる「強み」の創出として、子育てが終了した人も、子育て支援の担い手として継続できるような運営を目指すべきであり、結果として現在認識している「弱み」だけでなく、潜在的な「弱み」も含めて解消できる。ここでの「弱み」は、同じ施策に属する他の事務事業に共通するものであることから、当事業の一層の強化・拡充を求めたい。		

施策番号	事務事業名	所管課
19	児童館管理事業	こども支援課
方向性(第一次)		方向性(第二次)
現行どおり		改善、効率化
(改善、効率化の内容)		(改善、効率化の内容)
		強みを伸ばす
第二次評価コメント		
児童館の役割の一つでもある18歳まで(中高生)の居場所としての利用をはじめ、狭山市公共施設等総合管理計画で示されている今後の地域拠点施設の中で求められる役割などを考えると、「現行どおり」ということでは対応できないと考える。 施設サービスの継続を考えると、将来的な外部要因の変化に対応できるよう、効率的で効果的な運用を追求し、児童館の必要性をアピールできるよう取り組んでいく必要がある。		

第二次評価表

総合計画

第4章	産業経済 ～活力のある産業を育てるまちをめざして～	第5節	地域産業の振興
施策36	工業の活性化		
施策の 目指す姿	工業地域の環境整備や活動への支援により、企業活動が活性化するとともに、企業の研究開発力が向上し、競争力が高まっています。		
施策の課題	工業が活性化するためには、周辺環境との調和に加え、人材・施設設備・資金の確保など経営環境の整備、並びに競争力向上に向けた研究開発の支援が必要です。		
主なとりくみ	(1) 工業地域の環境整備 (2) 工業活動の活性化支援	● 既存の工業地区やその周辺の工業地について、工業会などと連携し、企業活動が円滑に行えるよう環境整備を促進します。 ● 産業労働センターを産業情報の発信・交換の場として活用し、地域産業に関する情報提供や異業種間の交流などにより、工業活動の活性化を支援します。 ● 人材の確保や建物の老朽化など、企業が抱える課題が解決し、安定した経営が持続するよう、専門相談員による適切な指導や情報提供、資金的支援などを実施します。また、中小企業・小規模企業の研究開発力や競争力向上のため、企業間や産官学の交流を促進します。	

施策番号	事務事業名	所管課
36	工業支援事業	産業振興課
方向性(第一次)		方向性(第二次)
改善、効率化		改善、効率化
(改善、効率化の内容)		(改善、効率化の内容)
強みを伸ばす		強みを伸ばす
第二次評価コメント		
事業遂行に当たっては、工業会や商工会議所などの協力組織が充実しているなど、行政経営上の「強み」を多く有しており、また、中小企業が経営課題の相談や企業間連携などのアドバイスを必要としていることは、企業訪問などで明らかであることから、持てる行政経営上の「強み」を生かし、より身近な場所で気軽に相談のできる支援体制の強化・改善を行うことが適当である。		

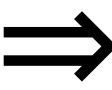
施策番号	事務事業名	所管課
36	ふるさとモノづくり応援プロジェクト事業(総合戦略事業)	産業振興課
方向性(第一次)		方向性(第二次)
改善、効率化		改善、効率化
(改善、効率化の内容)		(改善、効率化の内容)
強みを伸ばす		強みを伸ばす
第二次評価コメント		
企業間連携や人材の確保に対する企業のニーズは非常に高いことから、市内に2つの大規模な工業団地を有するなどの行政経営上の「強み」を生かし、当事業の強化を図るべきである。特に市内には多種多様な業種の事業所が多数存在することから、当事業に参加する企業数の増加に努め、発信する情報量と質を高めることで、さらなる企業の参加を促す。そのような改善を行うことが適当である。		

第二次評価表

総合計画

第7章	計画推進 ～構想実現のために～	第5節	健全な行政運営の推進
施策62	効率的・効果的な行政運営の推進		
施策の 目指す姿	PLAN(計画)-DO(実施)-CHECK(評価)-ACTION(改善)のPDCA マネジメントサイクルが確立されるとともに、社会情勢の変化や市民ニーズの変化に対応し、広域連携、民間活力の導入、行政の電子化が進められ、効率的・効果的な行政運営が行われています。		
施策の課題	PDCA マネジメントサイクルに基づき、計画・予算・決算・評価を連動させる必要があります。また、広域連携、民間活力の導入を推進するとともに、行政の電子化とそれに対応した情報セキュリティ対策が必要です。		
主なとりくみ	(1) 計画行政の推進	● 的確な行政需要の把握と財政見通しに基づいた実施計画を策定することにより、狭山市総合計画に掲げるとりくみの具現化と目標の達成を図ります。	
	(2) 広域連携の推進	● 計画・予算・決算・評価を連動させたPDCA マネジメントサイクルを確立します。	
	(3) 民間活力の導入	● 民間の経営ノウハウを活用し、市民サービスの向上と経費の削減を図るため、窓口サービスをはじめとする事務事業の包括的民間委託、公共施設への指定管理者制度の導入など、公民連携を推進します。	
	(4) 電子自治体の推進	● 市民の利便性を向上するため、行政手続きのオンライン化や行政事務の電子化を推進します。	
	(5) 情報セキュリティ対策の推進	● ICTを使った情報サービスを安全かつ安心して利用できるよう、技術的及び人的な対策を組み合わせ、高度な情報セキュリティ対策を講じます。	
	(6) 行政情報システムの最適化	● 各種情報システムの統一性を向上し、連携を強化するため、行政情報システムの全体最適化を進めます。 ● 行政情報システムの更新にあたっては、システムの構築や運用に係る経費などの削減に取り組みます。	

施策番号	事務事業名	所管課
62	行政評価実施事業	行政経営課
方向性(第一次)		方向性(第二次)
改善、効率化		改善、効率化
(改善、効率化の内容)		(改善、効率化の内容)
強みを伸ばす		手法、手段を見直す
第二次評価コメント		
社会情勢の変化に対応した持続可能で良質なサービスを提供できているか、適切なICTの活用により事務の効率化やサービスの向上が図られているかなどを見直すこの事業に対する「必要性」は高い。 しかし、PDCAサイクルによる所管チェックが十分に機能せず、期待値が得られていないことは、この事業の評価という点において大きな「弱み」と捉えられる。このことから、この事業に関しては、改善するため新たな評価手法について検討を重ねてきており、手法手段を見直すことが適当である。		

施策番号	事務事業名	所管課
62	埼玉県西部地域まちづくり計画(ダイアプラン)推進事業	政策企画課
方向性(第一次)		方向性(第二次)
現行どおり		改善、効率化
(改善、効率化の内容)		(改善、効率化の内容)
		手法、手段を見直す
第二次評価コメント		
ダイアプラン各市において、共通する行政課題の解決に向けて様々な分野ごとに有効な取組を研究すること、また、公共施設の相互利用に対するニーズは高いことなど、この事業に対する「必要性」は高く、ダイアプラン連携研修の実施により各市職員の能力向上を図るなど「強み」も有している。 しかしながら、超高齢化、人口減少社会への対応に向けて、従来の自治体の枠組みを超えた広域による行政運営が求められるなか、多様化する市民ニーズに的確に対応するためには、公共施設の共同運営、共同設置及び行政サービスの業務連携が求められるため、構成市の一員である協議会における取組に関して手法や手段などを見直すことが適当である。		

第二次評価表

施策番号	事務事業名	所管課
62	指定管理者制度運用事業	政策企画課
方向性(第一次)		方向性(第二次)
改善、効率化		改善、効率化
(改善、効率化の内容)		(改善、効率化の内容)
強みを伸ばす		強みを伸ばす
第二次評価コメント		
公共施設の利用において市民ニーズが多様化している中で、民間企業の経営ノウハウを取り入れた施設運営の「必要性」は高く、施設の特性や、管理コスト等を考慮し、指定管理者制度を適正に運用することで、効率的な行政運営を行えるなどの「強み」も有している。 民間企業の経営ノウハウの活用といった面においては、指定管理者制度は必須の制度である。このことから、この事業に関しては、今後もモニタリング等のチェック機能の充実を図り、施設の市民の公平な利用や更なる良好なサービスの提供を図られるよう、「強み」を伸ばしていくことが適当である。		

施策番号	事務事業名	所管課
62	情報化推進事業	情報政策課
方向性(第一次)		方向性(第二次)
改善、効率化		改善、効率化
(改善、効率化の内容)		(改善、効率化の内容)
強みを伸ばす		強みを伸ばす
第二次評価コメント		
ICTやIOTの活用など急速に情報化が進展する中、個人番号制度の情報連携開始にあたり、情報セキュリティ強化対策などが求められていることから、この事業に対する「必要性」は高く、情報政策官による情報化に関する支援を受けられるなどの「強み」も有している。 市職員のICTの活用に関する意識の薄さや専門的な職員の育成に時間を要するといった「弱み」もあるが、今後、AIやRPAの技術を利用したICTの活用が必要である。このことから、この事業に関しては、「強み」である情報政策官などによる支援で「弱み」を解消し、ダイアプラン4市でのシステム共同利用の研究なども進め、確実に情報化が推進できるよう、「強み」を伸ばしていくことが適当である。		